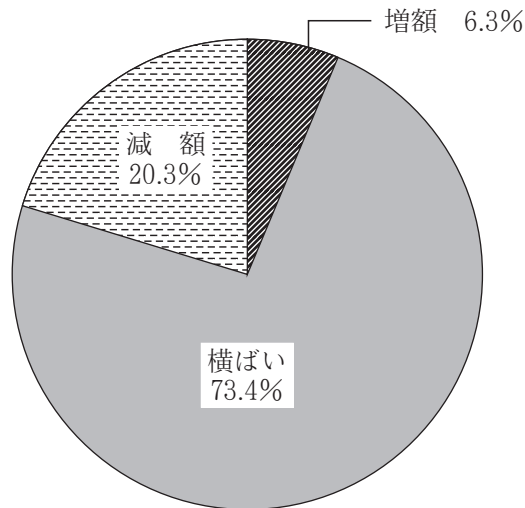


# 調査レポート

## 平成23年夏季 県内民間ボーナス支給見通し — 業況の先行き不安から再び抑制傾向に —

夏季民間ボーナス支給見通し（全産業）



「第70回県内企業経営動向調査」から

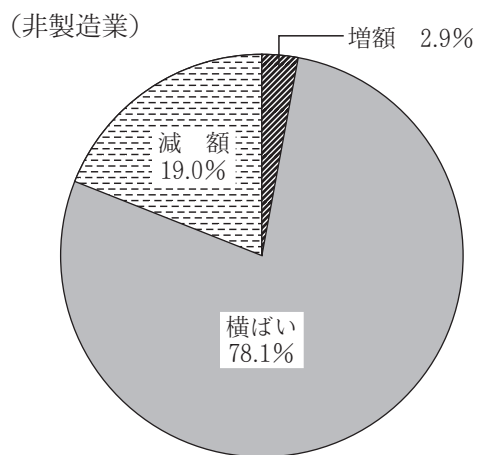
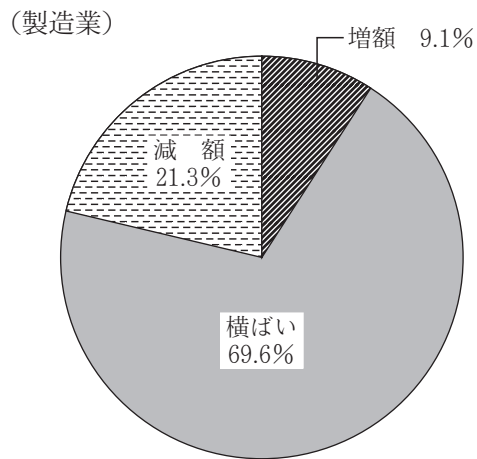
当行の第70回県内企業経営動向調査（4月上旬実施、回答企業316社）によると、今夏のボーナス支給予定額は、昨夏の支給額に対して「増額」回答先割合が6.3%（昨夏調査8.4%）、「横ばい」回答先割合が73.4%（同71.1%）、「減額」回答先割合が20.3%（同20.5%）となった。

この結果、夏季のボーナスDI（「増額」回答先割合－「減額」回答先割合）は△14.0となり、昨夏（△12.1）と比べて1.9ポイント低下した。平成21年夏を底に改善を示してきたが、再び抑制傾向が窺われる結果となっている。

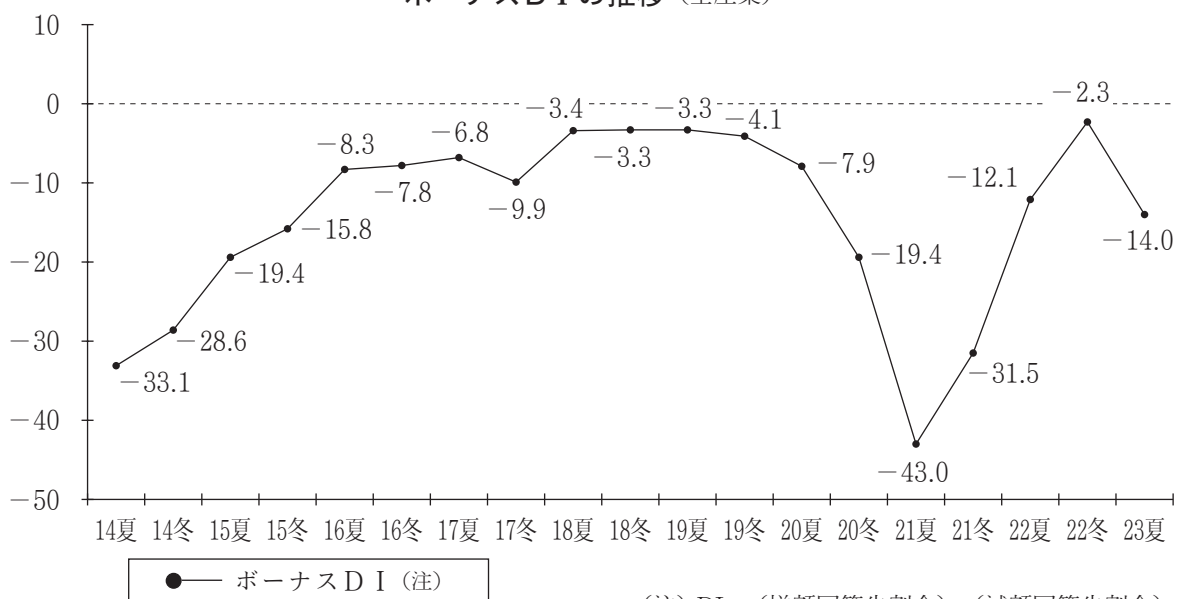
こうした調査結果は、企業業績の回復の遅れや経営者の業況に対する先行き不安が主な要因として想定される。

今回実施した企業経営動向調査において、22年度下期の受注、生産は、景気回復の動きを反映し増加傾向を示したものの、売上と収益は製品価格の下落から改善が見られていない。また、平成23年度上期の見通しについては、震災の

### 夏季民間ボーナス支給見通し



### ボーナスDIの推移（全産業）



(注) DI = (増額回答先割合) - (減額回答先割合)

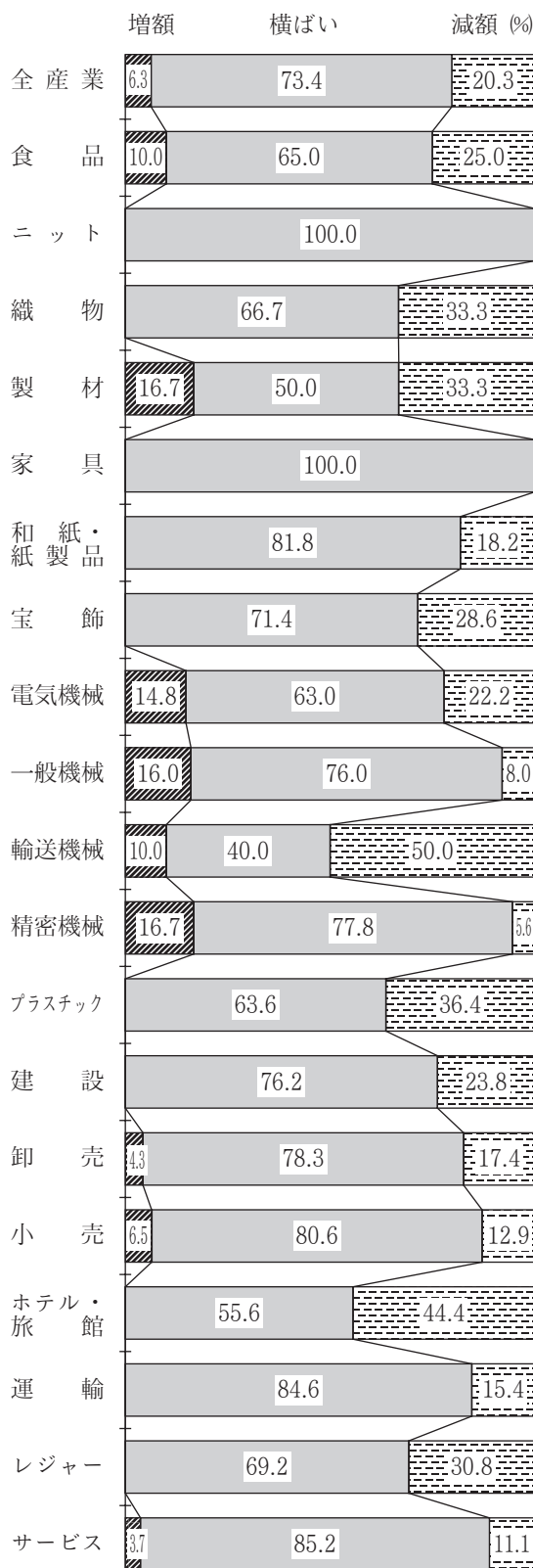
影響が窺われ、受注、生産、売上、収益とも減少を見込む先が大幅に増加しており、業況の見通しD I（「好転」回答先割合－「悪化」回答先割合）も大きく低下している。このように、県内企業では業況の先行きに対する懸念が広がりを見せており、こうした状況がボーナス支給見通しにも反映されたと言える。

なお、雇用環境も、企業経営動向調査では製造業で過剰感が広がり、非製造業も若干ながら過剰に転じており、雇用確保のために労働条件の改善を図る（ボーナス支給額を増額する）動機は薄れている。

支給見通しを業種別にみると、製造業は、「増額」回答先割合が9.1%（昨夏10.8%）、「減額」回答先割合が21.3%（同20.3%）となり、ボーナスD Iは△12.2（同△9.5）と2.7ポイント低下した。機械関連では、一般機械、精密機械で「増額」となっているものの、輸送機械で減額先が50%に達し、電気機械でも「減額」となっている。一方、地場産業では、横ばい先が機械関連と比べて相対的に多くなかで、増額先は食品、製材の計3社に止まり、食品、織物、製材、宝飾などで「減額」が目立っている。

非製造業は、「増額」回答先割合が2.9%（昨夏6.0%）、「減額」回答先割合が19.0%（同20.8%）、ボーナスD Iが△16.1（同△14.8）となり、減額傾向がやや強まっている。このうち、ホテル・旅館は増額先がなく、減額先が44.4%と前年と比べて倍増している。また、その他の業種は横ばい先が69.2～85.2%と大半を占めているが、建設やレジャーで減額先が多くなっている。

## 夏季民間ボーナスの業種別支給見通し



# 山梨中銀

# 夏期ローン

〈お取扱期間〉  
平成23年6月1日(水)～平成23年8月12日(金)

中小企業・個人事業主のみなさまの事業発展にお役立ていただくためのご融資です。  
賞与資金など、夏期資金としてお気軽にご利用ください。

お申込みいただける方	中小企業および個人事業主の方で、1年以上同一事業を営まれており、今後も継続して事業を営まれる方
お使いみち	事業に必要な運転資金
ご融資金額	1,500万円以内（無担保の場合は、1,000万円以内）
ご融資期限	平成23年10月31日(月)
ご返済方法	分割返済または期日一括返済

※審査の結果、ご希望にそえない場合がございますのであらかじめご了承ください。

くわしくは、山梨中央銀行の窓口またはフリーダイヤルへどうぞ。

山梨中央銀行ダイレクトマーケティングセンター  
☎ 0120-201862（照会コード：9）

〈受付時間〉  
月曜日～金曜日 9:00～17:00  
(ただし、祝日・12/31～1/3は除きます。)

平成23年6月1日現在

発行 山梨中央銀行  
編集 山梨中銀経営コンサルティング

〒400-0031 甲府市丸の内一丁目20番8号  
☎ (055) 224-1032

山梨中央銀行 URL：  
<http://www.yamanashibank.co.jp/>